

景気動向指数  
平成 23 年 12 月分（速報）の概要

12月のC I（速報値・平成17年=100）は、先行指数：94.3、一致指数：93.2、遅行指数：82.7となった。（注）

先行指数は、前月と比較して0.6ポイント上昇し、2ヶ月連続の上昇となった。3ヶ月後方移動平均は0.50ポイント上昇し、4ヶ月振りの上昇、7ヶ月後方移動平均は0.33ポイント上昇し、2ヶ月連続の上昇となった。

一致指数は、前月と比較して2.9ポイント上昇し、2ヶ月振りの上昇となった。3ヶ月後方移動平均は1.03ポイント上昇し、2ヶ月振りの上昇、7ヶ月後方移動平均は0.68ポイント上昇し、3ヶ月連続の上昇となった。

遅行指数は、前月と比較して0.3ポイント下降し、2ヶ月振りの下降となった。3ヶ月後方移動平均は1.00ポイント下降し、3ヶ月連続の下降、7ヶ月後方移動平均は0.20ポイント下降し、3ヶ月連続の下降となった。

一致指数の基調判断

景気動向指数（C I一致指数）は、上方への局面変化を示している。

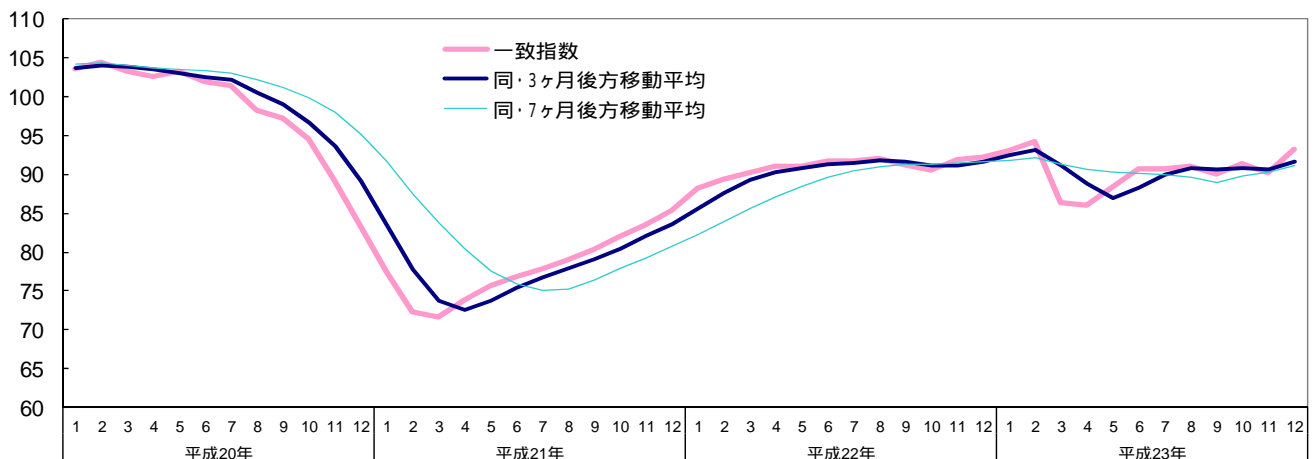
一致指数の前月差に対する個別系列の寄与度は以下の通り。

寄与度がプラスの系列	寄与度	寄与度がマイナスの系列	寄与度
C4：耐久消費財出荷指数	0.58	C3：大口電力使用量	-0.04
C2：鉱工業生産財出荷指数	0.50		
C10：中小企業出荷指数(製造業)	0.47		
C1：生産指数(鉱工業)	0.41		
C7：商業販売額(小売業)(前年同月比)	0.35		
C11：有効求人倍率(除学卒)	0.24		
C5：所定外労働時間指数(調査産業計)	0.22		
C6：投資財出荷指数(除輸送機械)	0.15		
C8：商業販売額(卸売業)(前年同月比)	0.04	C9：営業利益(全産業)	-0.05

「C9 営業利益」は現時点では算出に含まれていないため、トレンド成分を通じた寄与のみとなる。

なお、各個別系列のウェイトは均等である。

一致指数の推移



（注）23年9月分より、景気動向指数の第10次改定を反映した指数に切り替わっている。なお、現時点で得られる値のみで求めた。